



令和3年3月
2021-08

「IV型コラーゲン・7S」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、標記項目につきまして、検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

● 1197 IV型コラーゲン・7S

変更内容	新	旧	検査案内 掲載頁
検査方法	CLEIA法	RIA(二抗体法)	68頁
基準値	4.4 ng/mL 以下	6 ng/mL 以下	
所要日数	3~5日	4~6日	

※その他検査要項に変更はございません。

変更期日

● 令和3年3月31日(水)受付日分より

●IV型コラーゲン・7S

CLEIA法を用いた、より高感度に血中IV型コラーゲン・7Sを測定する検査です。

近年、慢性肝疾患では、非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) や非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) が増加しており、NASH の病態把握においては肝線維化のモニタリングが重要視されています。

IV型コラーゲン・7Sは、基底膜の構成成分であるIV型コラーゲン分子におけるN末端の7S領域を指し、タンパク分解酵素の影響を受けにくいため血中で安定していることが知られています。

正常な肝臓の類洞中には基底膜は存在しませんが、肝線維化が起こることで基底膜構成成分が分泌され沈着し、IV型コラーゲン・7Sが血中に漏出します。

IV型コラーゲン・7Sは、肝線維化の比較的早期から血中に増加することから肝線維化の指標として有用で、NAFLDとNASHの鑑別マーカーとしても期待されています。肝疾患の慢性化に伴い増生・蓄積される線維化の量を知ることは、疾患の治癒や予後の判定に極めて重要です。

▼疾患との関連

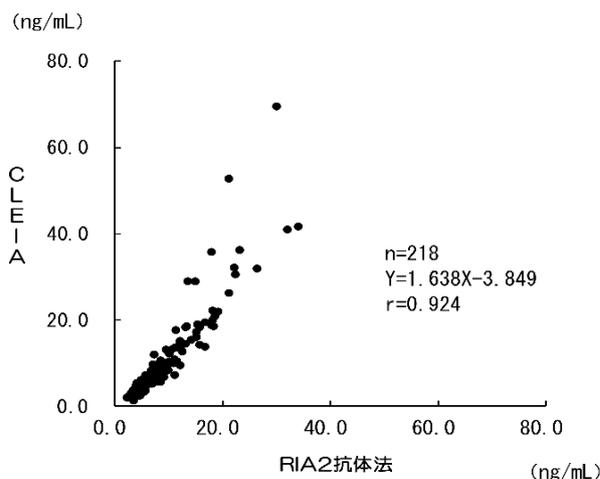
肝癌、肝硬変、慢性肝炎(活動性)
非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)
非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)

▼関連する主な検査項目

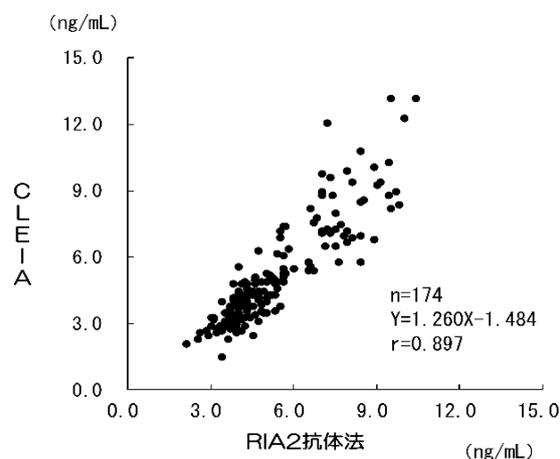
IV型コラーゲン、オートタキシン
P-III-P
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体

エスアールエル検討データ

全体



10ng/mL以下



●参考文献

大高木 結媛, 他: 医学と薬学 77(5):785~792, 2020. (検査方法参考文献)
豊田 秀徳, 他: 肝臓 59(8):377~383, 2018. (臨床的意義参考文献)